

評価分科会総合評価

研究課題名：C1 気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究

評価委員

委員長：木村富士男

委員：蒲生俊敬、田中佐、田中博、中島映至、渡邊朝生

記入年月日：平成 28 年 11 月 29 日

1. 委員評価

- (1) 継続の可否             継続    新規課題に移行    中止  
(2) 修正の必要の有無    修正の必要あり    修正の必要なし

2. 総合所見

当初の計画通りに、着実に研究が進められている。平成 29 年度以降の後半に向けた準備も適切に整えられており、特に修正すべき点は無いと考える。研究成果は多くの学术论文によって公表されている。また今後は、社会への貢献（特に副課題 2）も拡大することと期待される。

気候変動対策上の重要事項である CMIP6 への対応について、新規の地球システムモデルの準備が着実に進められ、体制が整えられている。また、地域気候モデルの高解像度化では、気候変動への適応策の基盤となる気象現象の地域性を考慮した予測を具体的に提示可能であることが示され、社会的なニーズに応えるための準備が整ってきている。

地域気候モデル NHRCM について、2km 分解能の将来気候変化予測実験が早く終了したので、1km 分解能版への取り組みが始まっているなど順調に研究が進んでいると確認できた。世界的に 1km 版が実現されつつあるので、引き続き、頑張ってもらいたい。また、人工排熱などを組み込んだ都市域モデルのネスティングも進められている点は評価できる。雲・放射過程の精緻化でも成果が出ている。

引き続き研究計画に沿って研究開発を進めていただきたい。